



三ツ石だより

編集・発行

島根あさひ社会復帰促進センター

問い合わせ先

ご意見・ご感想はこちらまで

〒697-0492 浜田市旭町丸原380-15

Tel. 0855-45-8171 (庶務課)

平成26(2014)年

6/1
第16号

御挨拶

島根あさひ社会復帰促進センター長



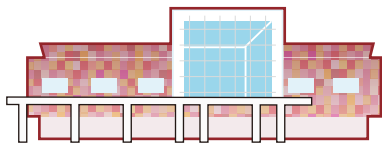
高野 昭文

本年四月一日
付けで島根あさひ社会復帰促進センター長を拝命して、この度、

着任いたしました。当センターのセンター長は、私でちょうど五代目に当たるとのことですが、施設もまだ六年目を迎えたところであり、こういった刑事施設としてはまだまだ歴史も浅く、私を含めた官民の職員が一体となって、地域の皆さんの御支援をいただきつつ、センターの伝統となるものを育んでいくことや将来の施設運営に資するような歴史を少しでも刻んでいくことができればと思っています。

とはいうものの、当センターでは、これまで様々な取組をしてきており、その多くは、先進的なものであり、地方自治体や各種機関や地域の皆さんの御協力ををいただきつつ、進められております。私どもの仕事は、受刑者の身柄を安全に確保し、彼らに対して改善更生のための各種プログラムを通じて、再生し、社会の一員として送り出すことにあります。

このようなことを念頭において、施設運営に取り組んでいくことに加え、種々の地域でのイベントなどにもできる限り参加していくつもりでおりますので、よろしくお願いいたします。



ごあいさつ

島根あさひ社会復帰促進センター 総務部長 阪上 秀治



四国高松から、縁あって自然あふれる、ここ旭町に参りました。南高台自治会長として、

地域協議会などにも参加させていただきま

今回で、十四回目の転勤となりました。妻子を埼玉県川越市に置いて、単身赴任六年目になります。これまで、関東、近畿、九州、四国には住みましたが、島根県も、中国地方も、初めて住む場所です。どこまでもべたべたとした高松とは異なり、起伏に満ちたこの地は、ランニング愛好者の私にとっては大変魅力的なところ。また、温泉が近隣にふんだんにあるのも、うれしい限りです。地域のいろんな催しには、積極的に参加させていただくつもりですので、なにとぞよろしくお願いいたします。

ごあいさつ

島根あさひ社会復帰促進センター 更生支援企画官 竹内 祥泰



本年四月一日から
更生支援企画官として勤務しております。出身は岩国市、その後、北九州市、山口県で育ちました。

矯正職員としては、九州の少年院（ハンデキヤップのある少年達を対象）から始まり、九州・沖縄、関西を経て当センターに参りました。その少年院で丁寧な根気強く被収容者に接することの大切さを学び、それが基本となって現在に至っています。地域の皆様をはじめ、多くの方々とともに、訓練生の円滑な社会復帰に向けて微力ながら粘り強く取り組みたいと思っております。よろしくお願いたします。



よろしくお願いたします

島根あさひ社会復帰促進センター 調査官 熊谷 信也



本年四月一日に
新潟県長岡市を出発し、約一〇〇〇キロ、

時間にして二十時間車を運転して三日に旭町に引越してきました。

これまで、関東・東北での勤務ばかりで、中国地方は最も西での勤務ということになります。豊かな自然とやさしい地元の皆さんに触れ、住み良い土地だと感じています。

仕事は、広報担当ということ。で、色々な機会に皆さんとお会いすると思いがすが、よろしくお願いたします。



ごあいさつ

株式会社 大林組 作業業務責任者 厨子 洋一



本年四月から、小野として、当センターに勤務することになりました。

出身は雪が多く、近くにスキー場がある山あいの小さな田舎町、鳥取県東部にある若桜町です。旭町に赴任してまいりまして懐かしさを感じたのは、ふる里と同じような町だからだと思います。センターでの仕事は、今まで経験してきた建設業とはまったく異なる分野で、解らないことばかりです。しかし、このような環境下で仕事を経験できることを感謝し、少しずつ理解できるよう努力しています。今後とも、地域の皆様、センターの皆様に助けていただきながら、少しでもお役に立てよう、がんばっていききたいと思っております。

ごあいさつ

グリーンホスピタリティフードマネジメント株式会社 給食業務責任者 高波 茂



昨年十二月より島根あさひ社会復帰促進センターの給食業務責任者として、勤務させて

頂くことになりました。出身は東京で、勤務先も東京本社で勤務しておりました。

本社へは電車で通勤をしておりましたが、満員電車での通勤は毎日体力の消耗を伴い、会社に着く前に疲れてしまっていました。現在、自然環境に恵まれた景色を見ながら車で通勤をしてとても満喫しております。

食事の提供に関しては、地元業者による食材の納入及び島根の日には地元食材を使用した食事を提供しております。

これからも地域の活性化及び地域の皆様と交流を深めてまいりたいと思っております。

まだまだ勉強することが多いですが、頑張りますのでこれからもよろしくお願いたします。

着任のごあいさつ

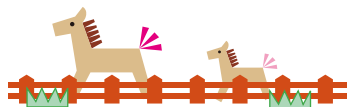
島根県立島根あさひ社会復帰促進センター 診療所 副所長 樋野 正治



本年、四月の人事異動により診療所に参りました。浜田地区での勤務は二回目

ですが二十七年ぶりとなります。街は、道路が整備されたり新しい施設が建ったりと様変わりしていますが、旭町の山並みを眺めていますと以前と変わらぬ落ち着いた風景が残っており、何か懐かしい感じがしております。センター診療所での仕事は、これまで経験のない新たなことが多く、戸惑う部分もありますが、地域の皆さんやセンター内の皆さんのご協力をいただきながら頑張りたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。





ホース・プログラム



教育の一般改善指導として実施しているホース・プログラムについて、平成21年11月15日発行の『三ツ石だより』第2号で紹介しましたが、昨年5月から2頭の馬（ルナとグレー）の不調により、いったんプログラムを中断していましたが、今年の3月からプログラムの内容をリニューアルして再開しました。

教育の目的は大きく変わりませんが、海外のホース・セラピーを参考にし、馬を介して自己の対人関係における問題点を受刑者に気付かせるためのプログラムとなっています。

不調だったルナとグレーもだいぶ元気になり、再びプログラムを支えてくれています。



ホース・プログラムの内容

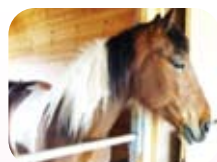


期間：3ヶ月（おおむね週1回90分、全12回）

馬へ自分なりの愛称をつけたり、自己紹介をしたりするなどの課題を行う回と、馬とは接することなく課題の振り返りを通して自己の内省を促す回とを交互に実施。



ルナとグレーについて



ルナ

ちょっと人見知りをすると、わがままなところもありますが、かわいい女の子です。タデガミを三つ編みにしてピンクのゴムで結んでもらうとご機嫌です。

グレー

人懐こく、大人しい男の子です。体にある地図のようなカッコイイ模様がありますが、すぐに転がって体に泥をつけるので、台無しです。



汗と涙の

ア・ラ・カルト

★ 広島矯正管区 管内矯正職員武道大会施設対抗試合

とき：H26.4.25 ところ：広島県立総合体育館武道場

【柔道】 対岡山刑務所 2-1 勝利
対鳥取刑務所 5-0 勝利
対広島刑務所 2-3 敗戦
2勝1敗 予選リーグ敗退

【剣道】 対広島刑務所 0-3 敗戦
対山口刑務所 1-3 敗戦
対美祢センター 4-1 勝利
1勝2敗 予選リーグ敗退



★ 第19回浜田市春季西部軟式野球大会

【1回戦】 とき：H26.3.3 ところ：三隅運動公園野球場
あさひイーグルス 7-4 ゼロ

【2回戦】 とき：H26.3.9 ところ：三隅運動公園野球場
あさひイーグルス 1-2 県立大学

★ ご声援ありがとうございました ★



眼科外来診療予定

6月5日(木) 10:00~12:30
7月3日(木) 10:00~12:30
8月7日(木) 10:00~12:30
予約・問合先 TEL 45-8166
(受付時間 平日 9:00~17:00)

**「手話講習会」
を開催**

センター職員を対象とした手話講習会を四月十四日から毎月一回(全六回)を開催することになりました。

講習会初日は、絵カードをみて身振りを表現を工夫してもらい、名前の表現を行いました。今までは、声だけでコミュニケーションをはかっていたので、身振り表現を開始すると戸惑う場面もありました。しかし、皆さん一生懸命考え、奮闘し表現していき、この難しさ、伝わったときの喜びの両方を体験できたのではないかと感じます。受講生の皆さん、これから手話を通して、作業部門、ボランティア啓発科 S・K

よろしく
お話しします

ふるさとお国自慢 ～大阪府



SSJ株式会社
社会復帰促進部
M. S

私の出身地、大阪をご紹介します。大阪には、通天閣や大阪城、ユニバーサルスタジオジャパンなど観光名所がたくさんあります。また、串カツやたこやき、ホルモン焼きなど食べ物も美味しく、上方落語や吉本新喜劇などのお笑いも有名です。

そんな大阪の街は、次から次へとファッションビルや飲食店が新しくでき、どこも人で賑わう楽しいところです。最近では、大阪市阿倍野区に『あべのハルカス』という地上60階建て・高さ300メートルの超高層ビルが完成しました。このビルには、オフィスやホテル、美術館、百貨店が入っています。“ハルカス”とは古語の“晴るかす”に由来していて、この言葉には「人の心を晴れ晴れとさせる」という意味があります。ビルの上層階には展望台が設置されているのですが、晴れやかな景色を見渡して爽快感を味わってもらいたい、多彩で充実した施設で来訪者に心地よさを感じてもらいたい、という思いが込められて造られたそうです。

皆様、もし大阪へ行かれることがありましたら、ぜひお立ち寄りください。そして、賑やかで明るい大阪の街を見てみてください。



編集後記

世はまさに、第二次マラソンブーム。

マラソン人口は、現在一〇〇万人を超えていると言われている。

東京マラソンを筆頭に、地方大会にも参加者が押し寄せ、何倍にもおおよぼ抽選を勝ち抜ける大会に参加する時代となっている。

そんな中、皆さんは島根県にフルマラソンの大会がないことをご存知でしょうか。ブームに遅れるな、島根県。(N.I)